

塩素について

虫や菌をほんのわずかな量で殺してしまう。

農薬・ダイオキシン等を生み出すきっかけの物

心臓病・動脈硬化・脳血管障害などの血液系に害を及ぼす。

水の中の有機物と化学反応を起こしトリハロメタン(発ガン物質)に変化する。

塩素入りの水道では、野菜の中のビタミンB1を水洗い程度で40%、ビタミンB1を奪う。

ビタミンCを瞬時に有害物質に変えてしまう事で、脳卒中の原因になる。

塩素が水分を強烈に奪い、ドライスキンを造って「コジロ」の元となる。

水道水で洗顔洗髪すると、次亜塩素酸の影響で老化の原因になる。

次亜塩素酸はレンジコンやモヤシなどの漂白剤として使用されている。

高濃度塩素入りの水道水(プールなど)で洗う髪の毛は、パサパサになり切れやすく細い。

1リットルの水道水を飲む事と、15分間入浴及びシャワーを浴びると、同等の有害物質を吸込む

入浴中、有害物質は皮膚からの吸収と湯気からの吸収により、20~91%体内に入ってしまう。

通常の入浴でも塩素入りの蒸気を含んだ「蒸気風呂」塩素濃度3.5ppm15分以上の入浴を慢性させる事によって、肺の酸素供給能力を低下させる。

塩素は皮脂と反応して、塩素化合物となる。細胞の老化を促進させ、紫外線を浴び続けている状態と同じように、皮膚にも老化を促進させる。

お風呂よりもシャワーの方が、細かく水滴にされ水の表面積を増やしている分、有害になる面積も多い。

飲料水として飲む害よりも、お風呂やシャワーから吸収する有害物質は「6倍~100倍」

塩素は汗腺にコタをしてみまい、アトピーになるという説もある。

アトピーでお風呂の後、痒くなる原因として、最近「塩素」が原因と注目されている。(布団14%・風呂34%)

科学物質(有害物質)の吸収経路は、「皮膚」「消化管」「呼吸器」だから、**飲料水よりもお風呂が危険**

石鹸やシャンプーを使う事が今や当たり前。しかし本来は自分の体温以上のお湯で垢は溶け出し、新しい皮膚を作り出す能力を持っている。(石鹸・シャンプー・歯磨き粉などは慢性したが化学物質)

レタスなどの繊維質の野菜を洗うと、瞬時に塩素入りの科学物質レタスとなる。

0.01ppmの水道水で手を洗うと、**瞬時に30万個の細胞が破壊**され失われる。

ウオッシュレット使用者に大腸ガンが多いというように、**人間の弱い箇所**に水道水を当てるのは危険。

※ここにあげている物はほんのごく一部の例です。その他臨床実験中の物が明らかになって来る日も近いでしょう！